

くても。できることからはじめたい。

愛の輪運動とは……

1981年、国連で決議された

「国際障害者年」にちなみ、

「広げよう愛の輪運動」は発足しました。

私たちすべての人間は、自由と平等、

そして諸権利と義務を持っています。

しかしながら、現実の社会は障害を

もつ人々にとって、決して安全で平等な生活の

できる社会環境ではありません。

愛の輪運動は障害をもつた方々が

社会への完全参加を果たせるよう、

障害者福祉の発展にいろいろなお手伝いを

推進していく社会運動です。

あなたがちよつとした勇氣とやさしさを持って、

なにかのお役に立ちたいと考えたら、

そんな心の輪を広げていき、

あたたかい世の中をみんなの

力をつくることが愛の輪運動の願いです。

● 地域社会のリーダーをめざす、 障害をもつ若者を福祉の 先進国に研修派遣しています。

愛の輪では自ら障害をもちながらも、障害者福祉の分野で社会に貢献したいと願う人々を海外へ派遣し、先進の福祉事情を学んでいただいています。今までに263名の派遣生の方々が海外に学び、帰国後その貴重な研修体験を活かして、大学教授や県会議員・自立生活センターの運営などさまざまな分野で地域社会のリーダーとして活躍されています。

● 「広げよう愛の輪運動」に 貢献された方々を顕彰しています。

障害者福祉活動のさまざまな分野で積極的に貢献された方や障害者スポーツ活動に活躍された方などにその功績に対して、「愛の輪賞」を。また、特別なご支援を賜った方に「感謝状」で顕彰させていただきます。

● 毎年、全国各地で「愛の輪のつどい」 を開催しています。

「愛の輪のつどい」は、京都・山科の「燈園」に所属する



1984年、「障害者リーダー米国研修派遣制度」が評価され、アン・サリバン賞を受賞。米・ニューヨークに本部をもつ、世界最大の盲人福祉厚生施設「インダストリアル・ホーム・フォア・ザ・ブラインド」が主催。障害者福祉に貢献のあった人に、年に1度贈られる権威のある賞です。留学生たちは帰国後、文字どおり障害をもつ人たちのリーダーとなり活躍していることに、この運動の意義を感じます。

を果たせるよう平等の立場から、心身障害児・者福祉の発展に努めることを誓います。



1998年3月、長野パラリンピックのアイススレッジスピードレースで3つの金メダルを獲得した、障害者リーダー育成海外研修派遣第18期生の松江美季さん。



1997年12月、熊本県会議員補欠選挙でトップ当選した、障害者リーダー育成海外研修派遣第10期生の平野みどりさん。初の車椅子の県会議員が誕生しました。

たとえ、できることがどんなにちいさ

「すわらじ劇団」の心あたたまる演劇や、自ら障害をもちながらも障害者福祉のリーダーとして活躍している人たちの力強い講演などを通じて、障害者福祉の啓発と普及に務めています。

●街角で困っている人をお手伝いする「ちよっとしたボランティア活動」を提唱しています。

街角で困っている障害をもった方に出会ったら、「めい、あいへるぶ・ゆう。何かお手伝いできることはありませんか?と、声をかける。そんなちいさなボランティアの輪が広がって、心のかよう社会になることを愛の輪は提唱しています。

（「愛の輪」に入会されたあなたに、いろいろなかたちで応援します。）

① メンバースカード、愛の輪バッジ、あいのわ事典をさしあげます。

財団では、あなたのボランティア活動を支援するさまざまなツールを用意しました。「あいのわ事典」では、障害をもった方とのコミュニケーションのとり方やケース別の介助法などを詳しく説明しています。街角でのボランティア活動にお役立てください。

② ボランティア研修を援助します。

地方自治体や各地の社会福祉協議会等が開催している手話、点字等の学習会に参加され、受講終了証(コピー)をご提示いただければ、財団で審査の上、受講料の50%、10%を負担し、あなたのボランティア活動を応援します。

③ 「愛の輪カレンダー」をさしあげます。

「個人会員A」(年会費3,000円)以上の会員さんには、毎年12月に、ねむの木学園のこどもたちが心をこめて描いた絵を宮城まり子さんのお力添えで「卓上カレンダー」として制作し、お贈りしています。

④ 機関誌「メッセージボード」をお送りします。

「個人会員A」以上の方に、財団の機関誌「あいのわメッセージボード」を季刊で発行し、お届けします。財団の最新ニュースを中心に、あなたのボランティアアマインドを高めていただく記事を掲載しています。

⑤ 「愛の輪のつどい」にお誘いします。

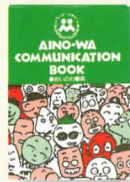
毎年全国各地で開催している「愛の輪のつどい」にぜひご参加され、障害をもたれた方々とのふれあいの機会をもつてください。



「愛の輪のつどい」プログラム



機関誌「メッセージボード」



「あいのわ事典」



「愛の輪バッジ」



「メンバースカード」



「愛の輪カレンダー」



あいのわ宣言 私たちは、この運動を通じて障害をもつ方々が社会への完全参加



熊本県・障害者自立支援センター・ヒューマンネットワークによる「ふれあいキャラバン」。



「愛の輪のつどい」に参加する多くの感動を与えているすわらじ劇園。98年の演目は「もどり橋」。